

託麻三山



戸島神社

こうぞのやま
神園山・小山山・戸島山

散策マップ

史跡をめぐる

5 平山菊池家宅の跡



菊池家14代菊池武士が建立したとされる大湊寺跡。北に穴太橋(あうづみ)の石垣、裏手に二重の堀を構えた小坂郭同然の要害地。
平山菊池家初代重千代丸=武治(22代能運の遺児と伝承)以来17代続いた平山菊池家の住居の跡である。先の大戦で男子ごとく戦死し17代幹一で途絶えた。広大な屋敷跡には「梵天・帝釈天」を祀る石祠が寂しく残っている。

4 平山天満宮



現在の祭神は菅原道真。もともとは天神の森であったと思われる。神体を祀る石祠は、石灯籠基の「文化8年(1811)・天保4年(1833)」及び手水鉢の「天保11年(1840)」の紀年銘から江戸末期に出来たと思われる。

3 平山地蔵



内形光背を背負う小立像で、凶作で飢饉が続いた江戸後期の安永4年(1775)に建立されている。

2 平山菊池家墓所



菊池家14代菊池武士(たけひと)が建立した東福寺跡と伝えられ、17代続いた平山菊池家の墓所である。元龜2年(1571)銘の宝篋印塔(ほうきょういんとう)は平山菊池家初代重千代丸=武治(22代能運(よしゆき)の遺児と伝承)の墓碑。一族の墓碑33基が整然と並んでいる。

1 石の本遺跡群



はるか3万年を超える、日本最古級の石器が出土し、人々がこの地に最初に住み始めたころの足跡を残している。10万点以上のぼる遺物が出土し、約3.8万年前からの複合遺跡(旧石器・縄文・一部で弥生古墳・中世まで)であることが確認され、後世に残すため土を被せ遺跡保存が行われている。

8 西福寺堤(おにぎり池)



瀬路堀川(しょうけりかわ)水源の一つで、不動岩から湧き出る水を農業用水とするために作られた溜池である。「井場さん池」とも呼ばれていたが、現在では、三角形のおにぎりの形から「おにぎり池」と呼ばれている。

9 立江寺と不動岩



花岡山立江寺(高野山真言宗)。託麻新四国八十八カ所設立の地であり、19番札所である。さらに「44番・64番・69番・74番札所」のそれぞれの仏像も境内に祀られている。
境内の奥には、不動明王を祀って不動岩といわれる巨岩があり、その岩の間から清水が湧き、生活用や灌漑用水となり、飲めば特に婦人病に効果があるとも伝えられる。

10 長嶺阿蘇神社



祭神は健甕龍命・阿蘇津姫命。元和2年(1616)の創建と伝え、氏子は長嶺の「神園・馬場・南・迎八反田・八反田」5地区で管理している。

11 奥の院大師堂・桜井硯の池



弘法大師(空海)諸国行脚の折、桜の枝にて池を加持せられた処清水運々と湧き出た。池が硯の型をしているため、硯の池と呼ぶ。熊本市の水遺産に登録されている。
清水が湧き出した恩に感謝するため大師堂を建てて祭った。託麻新四国八十八カ所の奥の院となる。八十八カ所の発祥の地である。

12 声取坂新橋掛継御用材植林の旧石碑



安巳橋の名前も未だ決まらず議論されている架橋の直後、将来の修理・改築の用材とするため、安政5年(1858)2月に神園山の東南に千本・翌6年2月に神園山の北に700本の杉植を植えた記念碑である。

神園コース

3万年の歴史豊かな平山と八十八ヶ所発祥の地「神園」を訪ねる

スタート地点までのアクセス
桜町バスターミナルから産交バス(約40分)
F1-1 東熊本第二病院行き(運動公園入口バス停下車)
F1-2 光の森産交行き(運動公園入口バス停下車)
K5-1 光の森産交行き(石原「バイパス」バス停下車)



モデルコース

所要時間：約90分
消費カロリー：約225kcal

- 1 石の本遺跡群
- 2 平山菊池家墓所
- 3 平山地蔵
- 4 平山天満宮
- 5 平山菊池家宅の跡
- 6 円心地蔵
- 7 声取坂新橋掛継御用材植林の旧石碑
- 8 西福寺堤(おにぎり池)
- 9 立江寺と不動岩
- 10 長嶺阿蘇神社
- 11 奥の院大師堂・桜井硯の池
- 12 神園山北麓旧石碑

こちらもオススメポイント!

- 1 鳥越峠と旧山道
戸島から小山を経て鹿帰瀬に至る道路で、江戸時代は「鹿帰瀬村道」と言われていた。うっそうと樹木が生い茂り、昼間でも薄暗い坂道で、頂上の峠には昔一本松があったと伝えている。一歩山際に入ると昔の面影を残した山道が残っている。
- 2 西福寺の焼き仏
明治維新の際、廃寺になった西福寺の仏像等を中山(現小山1丁目)で安置していたが、昭和19年火災で堂とともに仏像も焼けてしまった。
昭和36年中山地区の人々により、この焼き仏を安置する堂が現在地に建てられた。「阿陀陀・釈迦・観世音」三尊の石仏を刻み、その後方に焼き仏を安置している。
- 3 神園山瓦窯跡
神園山・小山山麓一帯は、奈良・平安時代にかけての瓦生産地であり、瓦を焼く煙たなびく古代窯業地帯を形成していた。
昭和10世紀操業、肥後国分寺の改修期(平安時代)に供給した瓦を作った窯跡であることが確認されている。
- 4 万松山西福寺跡
菊池家14代菊池武士ゆかりの託麻五山の一つ、万松山西福寺という曹洞宗の寺で正平年間(1346~70)に大智禪師により開基したと伝えられ、五輪塔の残欠や一字一石塔・歴代住職の墓に中世寺院の名残を見る。また芭蕉塚・高塚野翁塚では江戸時期の俳諧の盛況がしのばれる。
- 5 神園観音堂
長嶺阿蘇神社の社殿左側にあり、もともと城守親世音寺の堂と伝えられ、「違い鷹羽」の紋瓦が葺かれている。御本尊は阿蘇一の宮健甕龍命の本地仏十一面観世音菩薩である。
- 6 長嶺城跡
神園山の尾根筋に遺構が残っている。『古城考』『肥後国誌』によれば、長嶺村にある山城で地元では「筑後の嶺」と言っている。城主は筑後の守であるが、家名や年代は不明であるとされる。